

「小人の贈り物」

**お百姓**は、声のするほうへそつと近よっていきました。しげみのかげからのぞいてみると、森の中の草地で、**こびとたち**がたくさん集まって、輪(わ)になってダンスをしていました。**こびと**たちは、おどりながら、くり返しこう歌っていました。

月曜日、火曜日、水曜日

月曜日、火曜日、水曜日

**お百姓**は、しげみのかげから飛びだして、**こびと**たちに、

「どうして、月曜日、火曜日、水曜日としか歌わないんだい。木曜日、金曜日も歌えばいいのに」といいました。

すると**こびと**たちは、

「そいつはいいや」と、声をあげ、こんどはこう歌いました。

月曜日、火曜日、水曜日

月曜日、火曜日、水曜日

それから、木曜、金曜日

そして、**こびと**たちはお百姓の手をとりました。そこで、**お百姓**もいっしょに歌いおどりました。

おどりが終わると、**こびと**たちはお百姓に、

「歌のおれいに、何かほしいものはないかい。金や銀をどっさりあげてもいいよ」といいました。

**お百姓**は、

「金や銀が何の役に立っていうんだ。せなかのこぶをとってくれるんなら、そんなものはいらないよ」と、答えました。

すると、**こびと**たちはお百姓をつかまえて、まるでハンカチのように、くるりとほうり投げました。**お百姓**がまた地面におりたったとき、せなかのこぶがとれて、からだはろうそくみたいにまっすぐになっていました。

**お百姓**は大よろこびして、**こびと**たちが行ってしまいうまで、なんどもおれいをいいました。

「**こびと**たち」はおおぜいで一単位です。場面は、お百姓と小人たちの一対一でなりついています。

「六匹のうさぎ」

あるとき、椰子の実がひとつ水に落ちて、ボトンと音を立てました。**六匹のうさぎ**はびつくりして逃げだしました。**うさぎ**たちが走っていくと、**きつね**に会いました。

「どうしてそんなにあわてふためいて走ってるの」と、**きつね**がききました。**うさぎ**たちは、

「あそこで『ボトン』って声が出たんだ」と答えました。それを聞くと**きつね**もあわててかけだしました。

うさぎが六匹で一単位。うさぎたちときつねの一対一の場面です。